



7月12日、福島競馬場・新馬戦のパドックで

小島友実の あの馬の **STORY**



ウイングソルジャー

脚わんは、競走馬が勝ち上る際、
その馬と厩舎の相性も実は凄く大事
だと感じた事はありますか?
なぜ、冒頭にこのような事を書いた
かと思うと、今年7月の福島競馬場で
デビューレースを走ったウイングソルジャー
について調べてみると、凄いデータを
発見したからだ。

「馬体は半兄のタケシノアパート一歳でも健てあつた。兄は青毛なので、毛色は黒いわむかじだ」
入厩後の一ヶ月、福島競馬場で初陣を迎えたワイングソルジャー。結果はの着でした。

教師に向いました。

いのよりな比較が出来るのは訳で、一つの血統を通して扱ってきた蓄積が、勝ち上がるとしての結果に繋がることの事は間違つたものだといふ感じでもした。

「初戦は素質を感じさせるレース内容でしたし、姉のウイングドライバーのみのトップを目指して走りました。最後のレースでイングソルジャーの今後の可能性について伺いました。

「それがどうか、『示像師』がよく話す
よつば、ワインディング、ワインディングドウ
ィール、タブレット」——「——」
2戦目は、ワインディングチャップは3戦
目に初勝利を手にしてこののです。と
なると、ワインディングソルジャーにかかる期
待も当然、大きくなりますよね。
ね。距離適性は1000～2000メートル位
と見て、よつから距離賞の条件は(?)
と思いつて、来年のワラント路線に乗
せたあげたのです。母の子供達が勝ち
上がったよといふトータルでレシヤ
ーもありましたが(苦笑)、おおは一つ勝
たせんでしたね(?)、少しあつ調整

「何戦目」とは言えないですが、勝ち

上がれたと黙つた
戦の後に馬体に虐待
牧に出しました。
街で馬鹿じみつて

4番仔のウイニングチップは7月に2勝目を挙げ、1000万円クラスに駒級と並んで堅実に走り切ったのです。

「この馬は」、縁のある血統、ところの背景もあり、5番仔のウイニングソルジャーも預かる事になった宗像調教師。ウイニングソルジャーが一歳の時に見た印象を、「この馬は栗毛で母や兄弟とは毛色が違つて、馬体で似てつる所があつたな」「ですね」と話しておられたが、

ところで、この事で今回、廐舎へ取材に行つ

た際は「インクソルジャー」には会えなかつたので、普段の性格などを宗像

一歳時の暮れには満口になつて、たゞこの「ワインクンルジャー」。もしも「ワインクンルジャー」を持ててた余貴や他の人が、多くの方が出資してゐるのじよつね。今後も、「ワインクンルジャー」一族の活躍に注目したいと願つております。

うね。今後も、ウイングレット一族の活躍に注目したいと思いまーす！

profile

グリーンチャンネル「トラックマンTV」(毎週金曜 19:00~20:30)、ラジオNIKKI「中央競馬実況中継」ほか競馬ファンにはお馴染みの顔。平日は地方競馬、週末は中央競馬、そしてプライベートでも競馬三昧の日々を送る。本業のアナウンスのほかにも、競馬ブックのコラム「小島友実の好奇心keiba それいけ現場」の連載など活躍の場を広げている。